

講義コード	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	開講期
科目名	英語総合スキル2					第2期
履修前提条件				備考		
授業の目的	これまで学んだ基礎的内容を応用し、英語学習の四つの側面（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）とプレゼンテーションスキルなど、オールラウンドな英語運用能力の向上を目指す。将来、国際社会に生きる社会人として相応しい、より高度で実践的な読解、作文、聴解、会話力などを身につける授業を行なう。TOEIC ではこれまでより高い得点を取得し、就職試験の準備に役立てることを目標とする。					
到達目標	<p>以下のうち、4つ程度を選択し、目標達成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙数を第1期より200～300語程度は増やす。 2. 英文をすばやく読むために必要な正確な文法を習得する。 3. 応用的で、難易度の高い英文まで読めるようになる。 4. リスニングでは、より高度な会話やアナウンスの内容を詳細に理解でき、ディクテーションもできる。 5. 聞き取った内容について、さらに表現力を増やして、意見やコメントを述べたり、書くことができる。 6. 自然な英語の発話リズムを身につける。 7. TOEIC では、さらに高いスコアを目指す。 					
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次の授業に向けて教科書等を読み、理解する。 2. 担当講師から与えられた課題を行う。 3. 単語等、前回学習した内容を復習する。 4. 大学の WebClass が提供する e-learning を活用する。 5. テレビ、ラジオなどの語学講座や、インターネット上の英語関連サイト、参考書等を有効に使う。 <p>上記の学修を15時間以上行うこと。</p>					
授業計画	<p>【第1回】～【第15回】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①リーディング・リスニングを中心に、応用的テクニックを習得するための指導をする。それに伴い、スピーキング、ライティングの応用能力も習得するための指導を適宜行う。 ②よりハイレベルな TOEIC 対策の指導を行う。 					
成績評価の方法	期末・小テスト等の各種テスト（60%）、授業への参加態度（40%）					
フィードバックの内容						
教科書	各担当講師の指示に従う。					
指定図書	『TOEIC 新公式問題集 Vol. 6』 Educational Testing Service（著）、国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会（編集）（国際ビジネスコミュニケーション協会）2014年					
参考書						
教員からのお知らせ	<ol style="list-style-type: none"> ①教科書や辞書は担当の先生の指示に従ってください。 ②大学の WebClass が提供する e-learning を積極的に活用してください。TOEIC の e-learning を利用した場合の評価基準は、各担当の先生に確認してください。 ③ TOEIC 団体試験の受験を奨励します。 					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。					
その他						